

工事紹介写真（橋梁）

① 近畿自動車道紀勢線稲成高架橋上部工事

所在地 和歌山県田辺市稲成町地先
路線名 近畿自動車道紀勢線
発注者 国土交通省 近畿地方整備局 紀勢線出張所
構造形式 鋼3径間連続少数鈹桁(一部箱桁), 鋼3径間連続少数鈹桁
橋長 160.000 m, 155.881 m
支間長 48.000 m + 54.000 m + 56.000 m
48.500 m + 53.000 m + 52.380 m
有効幅員 9.250 m ~ 13.375 m, 5.500 m ~ 6.104 m
活荷重 B活荷重
架設工法 トラッククレーンベント工法
鋼重 933 t
特記事項 パイプスラブ合成床版を採用した。
箱断面の横梁を介して鈹桁と箱桁を剛結している。





② 三刀屋拡幅里熊大橋上部工事

所在地 島根県雲南市三刀屋町下熊谷～木次町里方地内
 路線名 国道54号
 発注者 国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
 構造形式 鋼6径間連続非合成钣桁橋
 橋長 279.50 m
 支間長 49.450 m + 47.350 m + 47.750 m
 + 47.750 m + 47.350 m + 37.950 m
 有効幅員 7.250 m～ 10.890 m(車道部)
 3.200 m～ 4.588 m(歩道部)
 活荷重 B活荷重
 架設工法 トラッククレーンベント工法
 鋼重 862t
 特記事項 国道54号拡幅事業のうち里熊大橋について既設橋
 の改造, および新設拡幅橋の併設工事である.



③ 紀北西道路岩出ICDランプ橋上部工

所在地 和歌山県岩出市根来地先
路線名 紀北西道路
発注者 国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
構造形式 鋼5径間連続非合成箱桁
橋長 190.000 m
支間長 38.100 m + 19.000 m + 2×39.000 m + 54.000 m
有効幅員 6.000 m～ 7.500 m
活荷重 B活荷重
架設工法 トラッククレーンベント工法
鋼重 424 t
特記事項 優良工事所長表彰（和歌山河川国道事務所）を受賞している。
曲率半径50m，縦断勾配6%のランプ橋である。



④ 国道311号（仮称 滝尻1号橋上部工）道路災害復旧工事

所在地 和歌山県田辺市中辺路町栗栖川～真砂地内

路線名 国道311号

発注者 和歌山県 西牟婁振興局

構造形式 鋼2径間連続非合成箱桁

橋長 86.500 m

支間長 35.500 m + 48.200 m

有効幅員 9.500 m～ 10.950 m

活荷重 B活荷重

架設工法 トラッククレーンベント工法

鋼重 305 t

特記事項 平成23年台風12号で被災した和歌山県田辺市中辺路町の国道311号線橋梁の災害復旧工事として新設した。



⑤ 国道311号（仮称 滝尻2号橋上部工）道路災害復旧工事

所在地 和歌山県田辺市中辺路町栗栖川～真砂地内

路線名 国道311号

発注者 和歌山県 西牟婁振興局

構造形式 鋼2径間連続非合成箱桁

橋長 95.900 m

支間長 51.100 m + 42.600 m

有効幅員 7.000 m～ 8.600 m（車道部）, 2.500 m（歩道部）

活荷重 B活荷重

架設工法 トラッククレーンベント工法

鋼重 348 t

特記事項 平成23年台風12号で被災した和歌山県田辺市中辺路町の国道311号線橋梁の災害復旧工事として新設した。



⑥ 近畿自動車道紀勢線辰ノ口上部工事

所在地 和歌山県西牟婁郡白浜町十九洲地先
路線名 近畿自動車道紀勢線
発注者 国土交通省 近畿地方整備局 紀勢線出張所
構造形式 鋼4径間連続細幅箱桁
橋長 139.000 m
支間長 20.500 m + 46.500 m + 36.500 m + 33.500 m
有効幅員 8.900 m
活荷重 B活荷重
架設工法 トラッククレーンベント工法
鋼重 316 t
特記事項 優良工事所長表彰（紀南河川国道事務所）を受賞した。
パイプスラブ合成床版を採用している。





⑦ 福岡208号徳益高架橋上部工（P32～P36）工事

所在地 福岡県柳川市大和町徳益地内
 路線名 福岡208号
 発注者 国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所
 構造形式 鋼4径間連続非合成鈹桁
 橋長 136.500 m
 支間長 33.550 m + 2×34.000 m + 33.550 m
 有効幅員 9.260 m
 活荷重 B活荷重
 架設工法 トラッククレーンベント工法
 鋼重 281 t
 特記事項 大牟田市と大川市を結ぶ有明海沿岸道路のうち
 高田大和バイパスの連続高架橋である。



⑧ 公共総合治水対策特定河川事業境川橋上部工工事

所在地 岐阜県岐阜市茜部辰新地内

路線名 県道岐阜稲沢線

発注者 岐阜県 岐阜土木事務所

構造形式 鋼2径間連続鋼床版箱桁

橋長 80.600 m

支間長 39.000 m+39.000 m

有効幅員 10.000 m（車道部）,2.000 m（歩道部）

活荷重 B活荷重

架設工法 クローラークレーンベント工法

鋼重 自社製作分：213 t，全体：492 t

特記事項 郷・駒井ハルテックJV.

端支点，中間支点とも斜角31度の斜橋である.





⑨ 松島橋上部工工事

所在地 兵庫県南あわじ市松帆江尻
 路線名 県道125号
 発注者 兵庫県 淡路県民局
 構造形式 鋼単純鋼床版箱桁
 橋長 49.000 m
 支間長 47.400 m
 有効幅員 7.500 m
 活荷重 B活荷重
 架設工法 トラッククレーンベント工法
 鋼重 164 t
 特記事項 海岸線に近いので、塩害対策として金属溶射を採用した。



⑩玉島笠岡道路六条院東高架橋鋼上部その2工事

所在地 岡山県浅口鴨方町六条院地内

路線名 玉島笠岡道路

発注者 国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所

構造形式 鋼3径間連続合成細幅箱桁

桁長 174.000 m

支間長 38.050 m + 76.000 m + 57.600 m

有効幅員 9.500 m

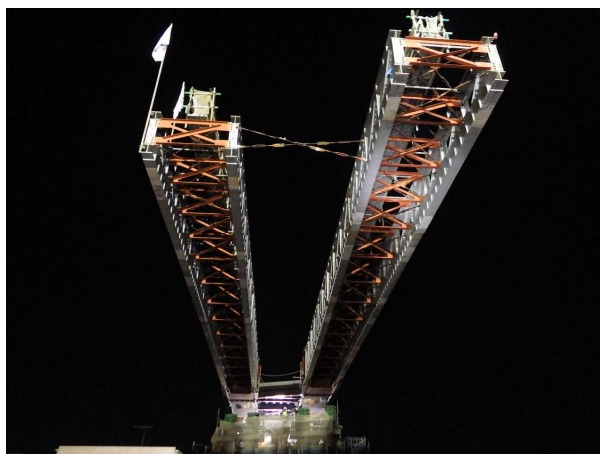
活荷重 B活荷重

架設工法 トラッククレーンベント工法

鋼重 580 t

特記事項 パイプスラブ合成床版を採用した。





⑪ 県道神吉船頭砂部陸橋上部工事

所在地 兵庫県加古川市東神吉砂部地先
 路線名 県道神吉船頭線
 発注者 国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所
 構造形式 鋼単純鋼床版箱桁
 橋長 47.988 m
 支間長 47.100 m
 有効幅員 6.500 m (車道部), 1.500 m (歩道部)
 活荷重 B活荷重
 架設工法 送出し架設工法
 鋼重 215 t
 特記事項 優良工事所長表彰 (姫路河川国道事務所), 並びに
 優秀技術者所長表彰 (姫路河川国道事務所) を受賞
 した。
 加古川バイパス上を送出し工法により架設した。



⑫ 平成26年度名二環かの里1高架橋鋼橋脚工事

所在地 愛知県名古屋市中川区供米田2丁目～かの里1丁目

路線名 名古屋第二環状自動車道

発注者 国土交通省 中部地方整備局 愛知国道事務所

構造形式 T型鋼製橋脚

活荷重 B活荷重

架設工法 トラッククレーンベント工法

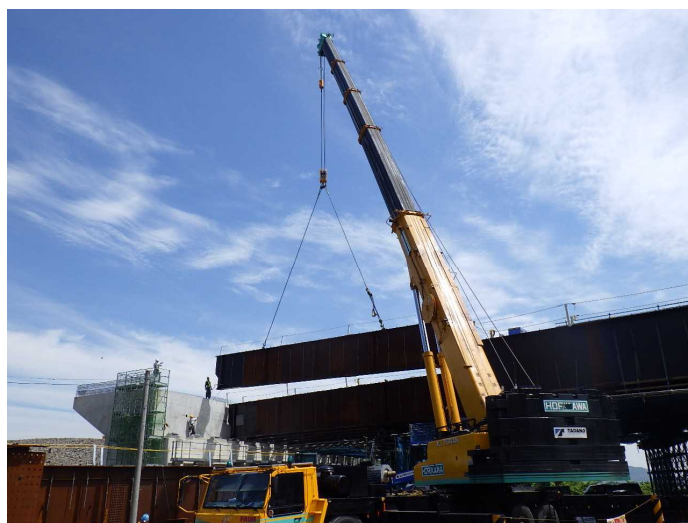
鋼重 617t

特記事項 名古屋環状2号線「かの里高架橋」の橋脚工事である。



⑬ 東北中央自動車道野寺内橋上部工工事

所在地 福島県福島市大笹生地内
 路線名 東北中央自動車道
 発注者 国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
 構造形式 鋼単純非合成鈹桁
 橋長 52.100 m
 支間長 50.300 m
 有効幅員 21.880 m～ 27.019 m
 活荷重 B活荷重
 架設工法 トラッククレーンベント工法
 鋼重 650 t
 特記事項 市道鳥川・大笹生線を跨ぐ東北中央自動車道の橋である。
 15本主桁の幅員が広い鈹桁橋である。





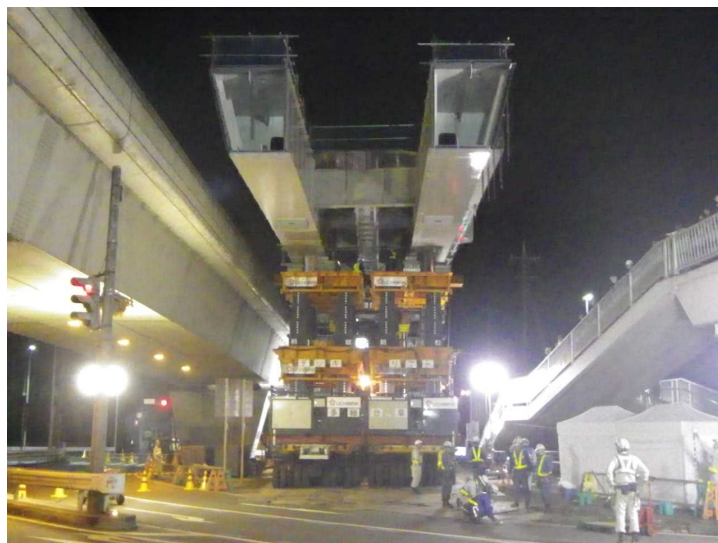
⑭ 国道6号千代田石岡B P東田中高架橋上部工事

所在地 茨城県石岡市東田中地先
路線名 国道6号千代田石岡バイパス
発注者 国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所
構造形式 鋼4径間連続非合成少数鈹桁
橋長 219.000 m
支間長 48.800 m + 2×60.000 m + 48.800 m
有効幅員 8.500 m(車道部)
3.500 m(歩道部)
活荷重 B活荷重
架設工法 トラッククレーンベント工法
鋼重 718t
特記事項 パイプスラブ合成床版を採用した。
多点固定支承を採用している。



⑮ 中宿高架橋上部工事

所在地 群馬県安中市中宿～中宿1丁目
 路線名 国道18号
 発注者 国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
 構造形式 鋼5径間連続非合成細幅箱桁
 橋長 260.000 m
 支間長 36.000 m + 44.000 m + 2×68.000 m + 42.100 m
 有効幅員 8.100 m
 活荷重 B活荷重
 架設工法 トラッククレーンベント工法,
 多軸式特殊台車による送出し工法
 鋼重 793 t
 特記事項 パイプスラブ合成床版を採用した,
 多軸式特殊台車による送出し工法にて架設を行った。





⑩ 中部横断自動車道 臼田 I C 橋

所在地 長野県佐久市湯原～下小田切
路線名 中部横断自動車道
発注者 国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所
構造形式 鋼単純非合成細幅箱桁
橋長 72.000 m
支間長 69.300 m
有効幅員 10.250 m
活荷重 B活荷重
架設工法 トラッククレーンベント工法
鋼重 411 t
特記事項 パイプスラブ合成床版を採用した。



⑰ 湾岸道路本牧地区1号橋上部工事

所在地 神奈川県横浜市中区本牧ふ頭地先
 路線名 国道357号
 発注者 国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
 構造形式 鋼4径間連続鋼床版箱桁
 橋長 344.500 m
 支間長 104.500 m + 74.000 m + 75.000 m + 88.100 m
 有効幅員 11.800 m + 11.750 m
 活荷重 B活荷重
 架設工法 リフトアップ+縦取り架設
 吊上げ架設
 横取り+縦取り架設
 多軸台車運搬+吊上げ架設
 鋼重 4398 t
 特記事項 供用中の高架橋下への架設であり、路下の制約も多いため、複数の工法を組み合わせ架設を行った。
 架設ステップに合わせた現場溶接キャンバーを設定し、出来形管理を行った。





⑩ 圏央道飯沼川高架橋上部その4工事

所在地 茨城県常総市伊左衛門新田町
 路線名 首都圏中央連絡自動車道
 発注者 国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所
 構造形式 鋼7径間連続非合成少数鈹桁（第9高架橋）
 鋼6径間連続非合成少数鈹桁（第10高架橋）
 鋼7径間連続非合成少数鈹桁（第11高架橋）
 橋長 252.000 m, 216.000 m, 229.500 m
 支間長 35.250 m + 5×36.000 m + 35.250 m（第9高架橋）
 35.250 m + 4×36.000 m + 35.250 m（第10高架橋）
 29.250 m + 30.000 m + 31.000 m + 42.500m
 + 2×32.000m + 31.000m（第11高架橋）
 有効幅員 10.500 m
 活荷重 B活荷重
 架設工法 クローラクレーンベント工法
 鋼重 1201 t
 特記事項 パイプスラブ合成床版を採用した。



⑱ 社会資本整備総合交付金（改築）工事（上武大橋上部工A1～P3）

所在地 群馬県伊勢崎市平塚地内
 路線名 主要地方道 伊勢崎深谷線
 発注者 埼玉県 熊谷県土整備事務所
 構造形式 鋼13径間連続合成細幅箱桁（3径間を施工）
 橋長 178.500 m
 支間長 56.550 m+58.200 m+58.200 m
 有効幅員 7.500 m（車道部）,3.500 m（歩道部）
 活荷重 B活荷重
 架設工法 クローラクレーンベント工法
 鋼重 574 t
 特記事項 13径間のうち3径間分の製作架設を行った。





㊦ 平成27年度法花横断歩道橋上部工事

所在地 徳島県徳島市八万町法花谷地先
路線名 国道192号
発注者 国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所
構造形式 鋼2径間連続鋼床版鈹桁
橋長 42.603 m
支間長 2×28.280 m
有効幅員 1.500 m
活荷重 群集荷重
架設工法 トラッククレーンベント工法
鋼重 36 t
特記事項 橋名を地元小学生から募り、「八南スマイル歩道橋」に決定された。



㊦ 3・4・180八条通道路改築（その3）工事

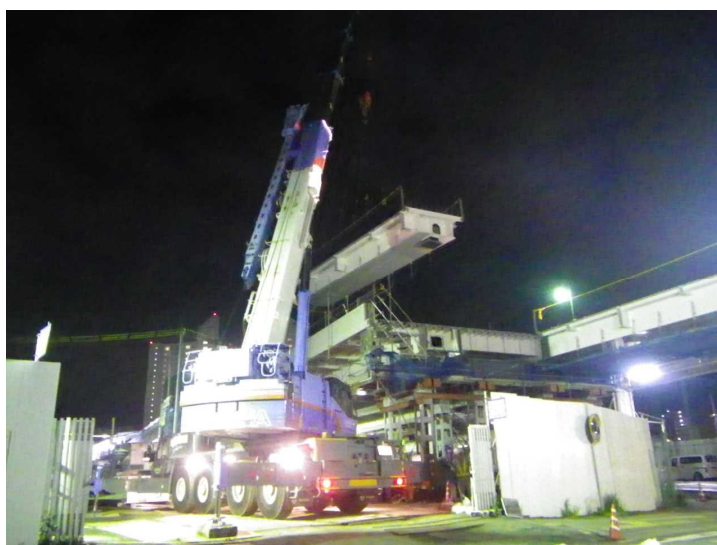
所在地 京都府京都市南区西九条院町他地内
 路線名 八条通
 発注者 京都市
 構造形式 鋼4径間連続鋼床版鈹桁
 橋長 60.619 m
 支間長 3×13.000 m + 15.500 m
 有効幅員 12.850 m～ 14.900 m
 活荷重 群集荷重
 架設工法 トラッククレーンベント工法
 鋼重 168 t
 特記事項 京都駅南口と直結するペDESTリアンデッキの設置、
 および関係する街路等の整備工事である。





⑫ 海老名自由通路整備（駅間部）工事

所在地 神奈川県海老名市上郷645号地内
発注者 鉄建建設株式会社（元発注者：海老名市）
構造形式 鋼4径間連続鋼床版箱桁
橋長 124.200 m
支間長 38.850 m +31.000 m+31.000 m+29.645 m
有効幅員 12.000 m
活荷重 群衆荷重、動く歩道荷重
架設工法 トラッククレーンベント工法
鋼重 443 t
特記事項 P2橋脚基部はソケット鋼管方式を採用した。
中間支点は剛結構造とした。



㊸ 軌道桁移動制限装置設置工事（その4）～（その6）

所在地 神奈川県鎌倉市台2丁目地内

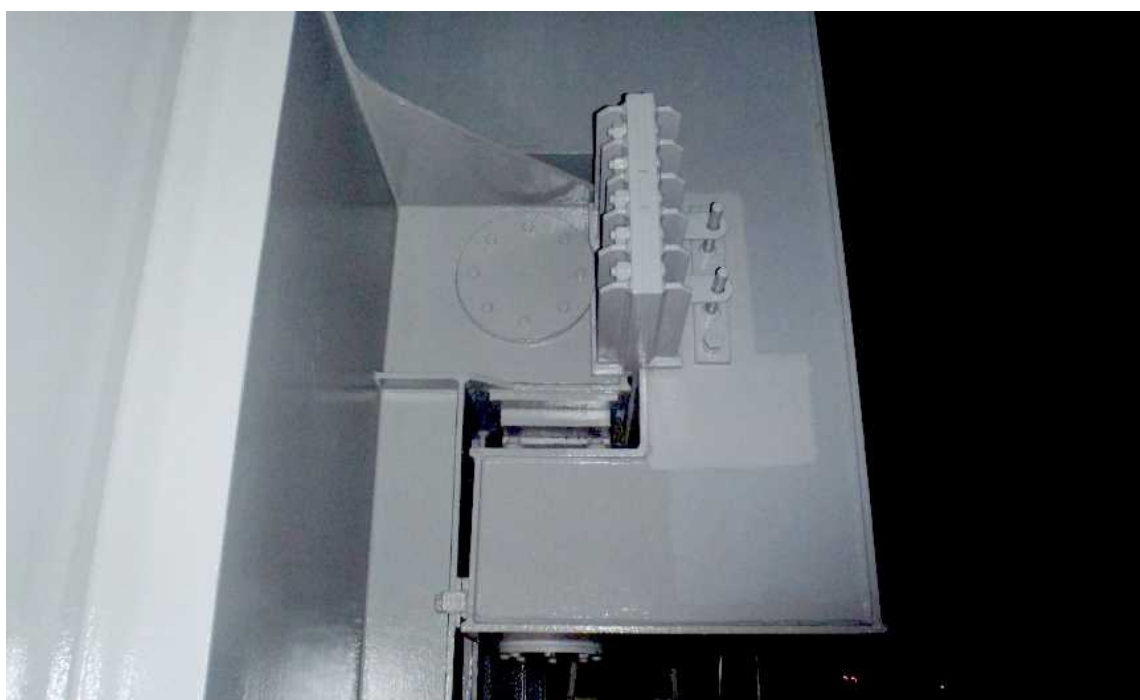
路線名 湘南モノレール

発注者 湘南モノレール株式会社

工事内容 移動制限装置の設置

鋼重 6t

特記事項 ワンサイドボルトを使用した。



②④ 山手線青梅街道架道橋橋脚耐震補強その他工事

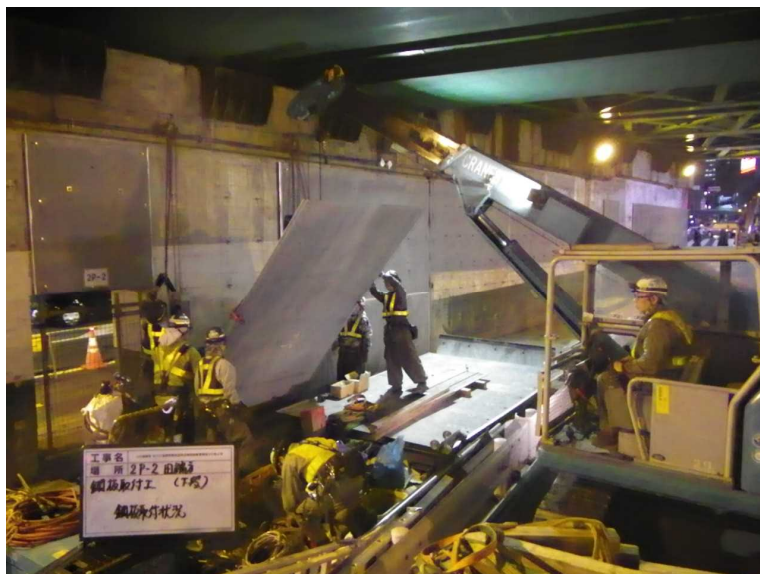
所在地 東京都新宿区歌舞伎町

発注者 株式会社大林組（元発注者：JR東日本）

工事内容 橋脚鋼板巻き立て（JR山手線）

鋼重 60 t

特記事項 鋼板パネルどうしの継手は現場溶接とした。

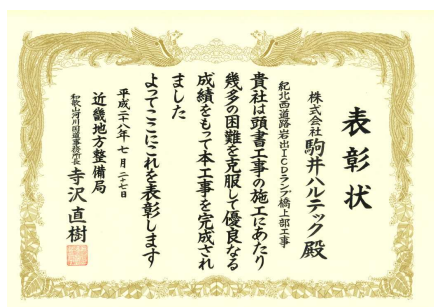


表彰状紹介

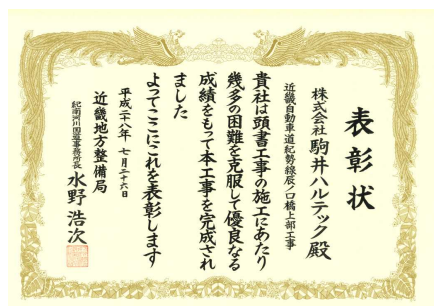
工事成績優秀企業認定書（国土交通省 近畿地方整備局）



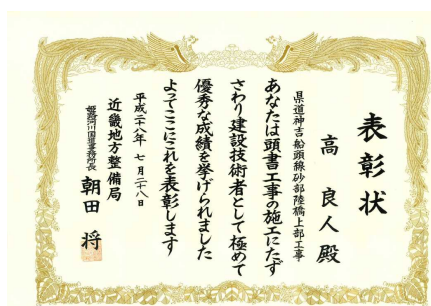
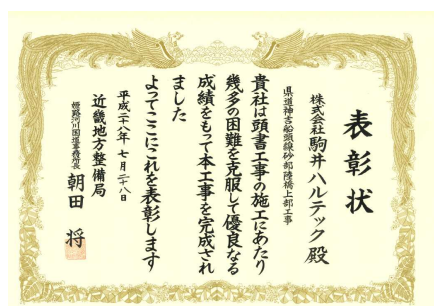
紀北西道路岩出ICDランプ橋（国土交通省 近畿地方整備局）



近畿自動車道紀勢線辰ノ口上部工事（国土交通省 近畿地方整備局）



県道神吉船頭砂部陸橋上部工事（国土交通省 近畿地方整備局）



土木学会田中賞（作品部門）受賞

横浜環状北線トラス橋（大熊川トラス橋）



橋梁が地域の方々に親しまれるよう「大熊川トラス橋」と平成28年8月に命名された

- 企業者 首都高速道路（株）神奈川建設局
設計者 （株）千代田コンサルタント、IHI・駒井ハルテックJV・（株）フジタ、清水・前田JV
施工者 IHI・駒井ハルテックJV、（株）フジタ、清水・前田JV
所在地 神奈川県横浜市港北区新羽町
構造形式 （上部構造）単径間鋼床版ダブルデッキトラス橋
（下部構造）RC橋脚2基（ケーソン基礎1基、杭基礎1基）
- 橋長 158.000m
支間長 155.500 m（上層）、156.056 m（下層）
有効幅員 8.500 m ～ 13.730 m,
8.501 m ～ 12.281 m
活荷重 B活荷重
架設工法 送出し架設
鋼重 自社製作分：1,400 t, JV全体：4,014t



駒井ハルテック技報 VOL.5 2015（P73）掲載